

## 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

当院の冠動脈 CTA における BT 法と TBT 法の比較

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2019 年 6 月～2022 年 7 月に当院 CT 検査において冠動脈撮影を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法

当院における冠動脈 CT 撮影の方法は 3 種類あり、造影方法は Bolus-Tracking 法（以下、BT 法）を用いていました。3 種類のうち最も被ばく低減に有用とされている方法は 1 心拍で撮影する事が可能な High pitch scan であり、低心拍数で正常洞調律の患者さんへ積極的に使用しています。しかし、症例毎に冠動脈の造影効果にばらつきが見受けられました。そのため現在の造影方法は、造影効果の安定化が図れるとされる Test Bolus-Tracking 法（以下、TBT 法）を用いて撮影を行っています。そこで High pitch scan における BT 法と TBT 法の比較を行うことを目的とします。

### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2022 年 9 月 18 日まで。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

当院 CT 検査において冠動脈を撮影した患者さんの中から、CT 画像、身長、体重、心拍出量、心駆出率、心拍数を調査項目とします。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについても患者さんもしくは患者さんの代理人のかたにご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その

場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 放射線技術部 氏名：内藤 光汰

住所：〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8000

研究責任者：内藤 光汰